

いずみ会/旧都立大泉中学校・都立大泉高等学校同窓会

# 会報いずみ 第43号

発行/いずみ会 編集/いずみ会会報部  
〒178-0063 東京都練馬区東大泉 5-3-1 都立大泉高等学校内

## 主な記事

- 2~3 執行部関係
- 4 吉野校長、山谷先生対談
- 5 母校関係
- 6 恩師近況
- 7 学士院賞、紫綬褒章
- 8 クラブ訪問
- 9 気象予報士バーチャル座談会
- 10~11 同期会だより

## 二八〇名の新入会員 自から創る卒業式

この春、卒業式を翌日に控えた3月5日、二八〇名の三年生が母校の体育館に集い、「いずみ会の一員となる「新会員入会式」に臨みました。その中から、名前を呼ばれた三年各組の新幹事たちは、壇上上がり田中会長から幹事の委嘱状を手渡されると、緊張した雰囲気戸惑いながらも新しい役割を再確認したようです。引き続き会長の挨拶、茂木副会長の愛情とユーモアに満ちた激励の言葉があつて、式は終わりました。一女子生徒は卒業直前の作文にこう記しています。「私は入学当初から、同級生がはつきりとした目標を持ち、それに向かって進む具体的な方法までも描いていることに驚いた。大泉でこういうしつかりした友だちに出会えてよかつた。」と。こうして切磋琢磨しあつた若人たちが、いずみ会の中で積極的に活動してくれることを期待しています。

さて翌日の卒業式ですが、会員の皆さんの卒業式はどうだったでしょうか。時代は大きく変わったというものの、「螢の光」と「涙」と「惜別の心」に溢れて卒業をした我々が純情で、今の高校生が特別変わった心を持つて卒業式を迎えるわけではありません。概して都立高校の卒業式というものは、いつでも品行方正な優等生の面を見せるばかりではなく、あるときは節度をもつてはめをはずし、機会があれば自己主張をはつきりとするという自由さを許容されてきたものだと思います。



今年の卒業式は厳粛なうちに始まり、後半はいわゆる「生徒たちの手作りの式」に移っていきました。今年も答辞を「演ずる」役の卒業生代表が応援団員であるという点は例年通り踏襲され、会場に緊張と喜びが程よく入り混じった落ち着いた卒業式でした。昨年の卒業式が、送るほうも聴衆も大笑いする、それが今風といえどそんな気がしたものであつ



たのに対して、今年は卒業式を「手作り」の部分をしつかり味わい直そうという気持ちがいよいよ勝つた式でした。

卒業生をおくる応援団員のエールを受けながら、二八〇名は輝いていました。高校卒業という「夢と希望の時代」への訣別を重く受け止めているからこそ、最後を明るくしめ括りたのでしよう。自分たちが式の主役であることについて、いかなる干渉も許さず、自分たちの「創る」部分を式場のすべての人々にアピールして、彼らは笑顔で式場を去っていきました。そして、ちょっと垣間見ました。何人かの生徒が泣いていたのを、やっぱり変つてない。変つてない。(会報部 北上)

## 総会懇親会

### 恩師を囲んで二一四名が参集

昨年度の総会・懇親会は下二桁8の期が、その運営のお手伝いと、懇親会の企画を行いました。

吉野校長先生の元気の出るお話を総会で伺い、それに続く懇親会では、多数ご出席いただいた恩師先生方のご様子を、中村謙氏(高18期)の名司会で、楽しく、かつ懐かしくお聴きすることができました。(写真)

また、8の会にお寄せいただいた一二二名の先生方からのお手紙・写真を展示し、先生を核にした先輩・後輩の語りも、見受けられました。最後は、次年度9の期への引継ぎがなされ、多数が二次会へ。



本年度  
いずみ会総会・懇親会  
10月24日(日) 午後1時  
母校にて開催(詳細は12面に)

# 本年度 幹事総会報告

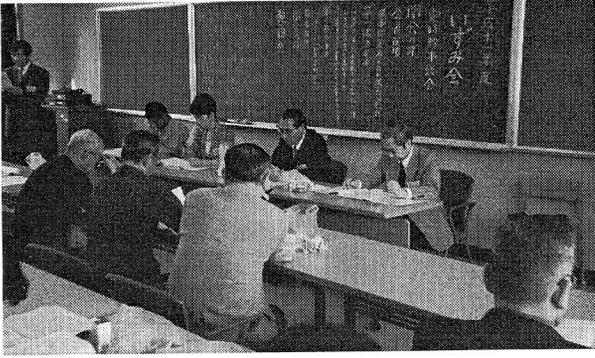
本年度の定時幹事総会は、5月22日(土)母校で開催されました。

田中会長の挨拶のあと、出席者全員が起立・黙禱し、故石井副会長のご冥福をお祈り致しました。続いて議事録署名人(清水一男・平野桂子幹事)を選任し、議長に土肥理事が選任され議事に入りました。

議事：(1)平成10年度事業報告(大場理事)、決算承認の件(真柳理事) (2)平成10年度監査報告の件(山田・椎葉監査役)の報告があり、次のような質疑がありました。

○繰越金の扱い方(表記方法)の変更(鈴木幹事・高16) ○財産の内訳の記述方法(桜井幹事・高2)。それらに対して今後、理事会と監査役で検討する旨の提案があり、全会一致で承認されました。

(3)平成11年度事業計画案、予算案承



## 幹事総会 出席者 記録

登録幹事総数：618名 出席幹事数：44名 委任状提出幹事数：251名  
出席幹事氏名(敬称略)  
(中2)片山達郎、加藤正照、菊谷義美、田中英道、(高2、以下高略) 桜井宏 (3) 藤本尚 (6) 高橋保孝 (7) 山田清子 (8) 堤美代子 (9) 相原英子、大軒史子、林久治郎、山下嗣夫 (11) 北上俊人、椎葉亮一、広瀬芳子 (12) 洪井周而 (13) 佐藤克子、山田秀之、山本章義 (14) 布施百合子 (16) 大場修一、鈴木哲 (18) 安斉秀行、杉山明美 (19) 小林朝子 (20) 栗原正成、寺章夫、土肥暁美 (21) 岩城隆就、植村久 (22) 清水一男 (24) 真柳仁 (25) 宇多正行、吉田寛 (28) 西澤正博 (29) 斎藤俊夫 (30) 山本孝文 (45) 矢島正章 (49) 加瀬哲也 (51) 白岩直人、水藤大吾、谷川絵理、平野桂子

認の件(宇多事務局長)が説明され、副会長の欠員補充に関して、様々な討議が交され、活動していく上で必要があればその時点で手続きを進めること、規約の副会長の定数を今後検討すること一括承認され、報告事項に入りました。

報告事項は(1)総会へ向けての協力要請(「9の会」大軒幹事・高9)、(2)2000年名簿への協力要請、(3)会費納入のお願い、(4)同期会、クラブOB会開催の連絡要請、(5)来年度の役員改選、新入幹事四名の紹介、(6)平成13年母校60周年記念行事、本年度母校文化祭への参加、母校卒業の大泉現職教員の紹介でした。

以上で議事がすべて終了し、閉会が宣せられました。引き続き和やかな雰囲気懇親会が催されました。(総務企画部)

## 平成10年度 いずみ会収支決算

平成11年3月31日	
(単位：円)	
第1. 当期収入の部	
1 新入会員入会金(327人)	1,635,000
2 本年度分会費(2647人分)	2,647,000
3 寄付	482,000
4 総会参加費	227,000
5 雑収入(利息、祝儀等)	106,743
6 50年記念誌売上	27,500
当期収入合計	5,125,243
第2. 当期支出の部	
1 総会費	343,111
2 役員、幹事会合費	320,638
3 監査役会費	4,400
4 会報費	2,216,201
5 会費徴収経費	86,760
6 名簿調査管理費	193,797
7 母校連絡費	119,980
8 新会員向け名簿作成費	32,880
9 雑費	19,657
10 名簿積立金支出	600,000
11 予備費	0
12 設備、什器、備品費	175,392
支出合計	4,112,816
第3. 当期収支の部	
1 当期収入合計	5,125,243
2 当期支出合計	4,112,816
当期収支差額	1,012,427
前期繰越金	5,717,719
次期繰越金	6,730,146

## 平成11年度 いずみ会収支予算

第1. 当期収入の部	
1 新入会員入会金(281人)	1,405,000
2 本年度分会費(2735人分)	2,735,000
3 寄付	411,000
4 総会参加費	250,000
5 雑収入(利息、祝儀等)	50,000
6 50周年記念誌等売上	10,000
当期収入合計	4,861,000
第2. 当期支出の部	
1 総会費	380,000
2 役員、幹事会合費	420,000
3 監査役会費	10,000
4 会報費	2,390,000
5 会費徴収経費	82,560
6 名簿調査管理費	300,000
7 母校連絡費	150,000
8 新会員向け名簿作成費	50,000
9 雑費	50,000
10 名簿積立金支出	600,000
11 予備費	100,000
12 設備、什器、備品費	50,000
当期支出合計	4,582,560
第3. 当期収支の部	
1 当期収入合計	4,861,000
2 当期支出合計	4,582,560
当期収支差額	278,440
前期繰越金	6,730,146
次期繰越金	7,008,586

## 平成11年度 いずみ会事業計画

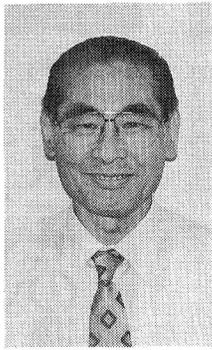
- 第1 総会の開催  
平成11年10月24日(日)母校にて開催予定。  
本年度の総会後の懇親会の企画立案・運営については、期の下一桁が9の期の方々の「9の会」にお願いすることとする。
- 第2 定時幹事総会の開催  
平成11年5月22日(土)母校にて開催予定。定例の議事を予定。
- 第3 会報の発行  
いずみ会報第43号を9月に発行予定。  
内容としては、いずみ会活動報告、役員改選の案内、2000年名簿の発行案内、母校及び恩師の近況、会員情報等の記事を予定。
- 第4 名簿の整備、2000年名簿の準備  
名簿部の年間の定例作業の確立により、名簿情報の充実を図る。  
平成12年秋に発行予定の2000年名簿の作成に向けて、その詳細の検討を図り、プロジェクトチームを発足させ、30期以降(特に40期以降)の名簿の充実を図る。各期の名簿担当者との人的関係を広げていく。
- 第5 会員との情報交換の拡充  
いずみ会と個々の会員との情報交換は、会報、総会の出席はがき、住所変更用のファックス等により行われていたが、更にいずみ会として電子メールを設け、いずみ会と会員との間の活発な情報交換を図り、また、ホームページの作成も検討する。
- 第6 母校との連携  
母校との関係強化のため、懇談会を開催する。  
母校及びPTA開催の催事への協力を行う。
- 第7 新幹事(高51期)との懇談会の開催  
新幹事のいずみ会への参加意識を図るため懇談会を開き、併せて期の名簿の維持管理等を依頼する。
- 第8 入会式の開催  
卒業式予行後に新卒業生(高52期)に対し、いずみ会の会員となることの意義を伝え、会長より新幹事を任命する。

## いずみ会財産

平成11年3月31日現在			
一般会計次期繰越金	6,730,146	同窓会名簿(H12年卒業生 配布用)	309冊
前受会費等	16,578,469	高校50周年記念誌	43冊
名簿発行引当金	2,800,000	パソコン(平成7・8・9年度に購入)	3台
合計	26,108,615	プリンター(平成7・10年度に購入)	2台

# 縁と円を大切に 会長 田中英道(中2期)

今年の夏の暑さは殊のほかでした  
が、会員の皆様にはお元気であらう  
でしょうか。西暦一千年代最後の  
年も、残り三ヶ月余りとなりました。  
いずみ会執行部は今年度も皆様のご  
支援のもと、幹事総会でご承認を頂  
いた事業計画に基づいて活動を進め  
ています。その中でも来年秋の発行  
を目指す同窓会会員名簿を「いずみ  
会2000年名簿」と名づけ、名簿  
部を中心に検討、準備を進めていま  
す。同窓会50周年記念の一環として  
発行した前回名簿から来年で五年に  
なります。精度の向上に加え、五期  
分の厚みを増した名簿は即ちいずみ  
会の厚み、重さであり、同じ学び舎  
ですごした人々の息吹を感じて頂き  
たいと思います。なお今回は予約販  
売制をとりましたので、後述の案内  
をごらんの上、お申し込みください。  
さて、ある大学教授の話ですが、  
「講義中の私語を注意するのに、その  
子の名前を聞くより出身高校を聞く  
ほうが効果的」だそうで、この例は  
善きにつけ悪しきにつけ、「同窓」を  
意識する初めかもしれません。また、  
「いずみ会の活動とは一会員である  
個人には直接関係がない、目に見え  
るような大きな影響は感じられない  
。」と卒業したばかりの若い期の皆  
さんは感じられるかもしれません。



しかし学校という小さな集団から大  
きな実社会に一人で出てみると、思  
わぬ時に同窓の繋がりに感謝するこ  
とがあります。経験豊かな先輩の親  
身なアドバイスは、安心感があり、  
また転勤等で遠く離れた地にある時  
同窓という共通点から親しく助け合  
うこともまれではありません。こう  
した「縁」をいずみ会では大切にし  
たいと思っております。

そして実社会にでて、そろそろ一  
人前になった頃に同窓会の存在を頭  
の隅におかれ、積極的に会費を納入  
されることをお願いします。40代50  
代になって高校生の頃をふつと振り  
返ることもあるでしょう。そして自  
分の原点を見つけ、元気がでる事  
でしょう。その時に、いずみ会自身も  
元気でいられるようご支援ください。  
会費は名簿や今お読み頂いている  
会報の作成費、また春の幹事総会や  
秋の総会開催に使われ、会報をお届け  
する通信費もお届先のデータ更新  
を重ね、一円も無駄の無いように努  
めています。ただ、どんなに支出削  
減の努力をしても皆さんの会費納入  
なしに会を運営することはできませ  
ん。少子高齢化現象が近い将来の財  
政危機をもたらす可能性も否定でき  
ません。重ねてお願いいたします。

さて、今年度から母校の文化祭へ  
参加することを決め、「会員の講演  
会」と「会の歴史やいずみ会文庫等  
の展示」をします。是非いずみ会コ  
ーナーに立ち寄られ、エネルギー溢  
れる後輩たちと話をし、笑い、青春  
することを勧めいたします。

## 平成10年度 活動の記録

- 平成10年4月27日 監査役会
- 5月23日 定時幹事総会
- 7月18日 高校との懇談会
- 8月1日 新幹事懇談会
- 9月10日 会報42号発行
- 10月25日 総会・懇親会
- 平成11年3月5日 入会式
- 3月14日 名簿幹事懇親会
- 平成10年4月25日から平成11年3月13日まで、計9回の理事会開催
- 平成10年6月27日から10月17日まで、総会・懇親会に向け3回、反省会を含め計4回「8の会」開催

### 総務企画部理事

- 菊谷 義美(中2期)、小野田敦子(高12期)、大場 修一(高16期)、土肥 暁美(高20期)、岩城 隆就(高21期)、西澤 正博(高28期)、斎藤 俊夫(高29期)

### 会報部理事

- 武市 則昭(高9期)、北上 俊人(高11期)、寺 章夫(高20期)

### 名簿部理事

- 吉田 寛(高25期)、野島 陽子(高28期)、築 茂之(高30期)

### 会計部理事

- 真柳 仁(高24期)

### 監査役

- 春日 孟(中1期)、山田 清子(高7期)、椎葉 亮一(高11期)

### 顧問

- 吉野 尚也(大泉高校校長) 平成11年6月現在

## いずみ会 役員名簿

- 会長 田中英道(中2期)
- 副会長 茂木 光男(高8期)
- 事務局長 宇多 正行(高25期)

## 高校51期・新幹事

1組	水藤 大吾 179-0071	練馬区旭町3-22-4	03-3930-4498
	田瀬 もも 177-0041	練馬区石神井町8-34-5	03-3904-3288
2組	三瓶 誠一 167-0035	杉並区今川4-23-19-502	03-3395-3465
	荒川 陽子 176-0002	練馬区桜台3-42-29	03-3992-4410
3組	遠藤 勇太 179-0072	練馬区光が丘5-5-1-1307	03-3976-7393
	吉岡真実子 177-0051	練馬区関町北1-20-14-801	03-3920-6874
4組	宮崎健太郎 203-0042	東久留米市八幡町1-9-28 B-808	0424-72-9332
	島田 初音 164-0011	中野区中央4-26-10-1001	03-3384-6014
5組	安斉 聡 178-0063	練馬区東大泉4-1-10	03-3922-4847
	谷治さやか 178-0062	練馬区大泉町2-36-2	03-3925-7888
6組	白岩 直人 179-0072	練馬区光が丘2-8-2-907	03-3976-8203
	平野 桂子 176-0003	練馬区羽沢1-10-4	03-3994-5616
7組	広瀬 耕徳 178-0061	練馬区大泉学園町6-28-31	03-3924-9751
	谷川 理恵 179-0072	練馬区光が丘6-1-4-1401	03-3977-7332

※幹事の役割は、幹事総会への出席の他、各期の名簿管理・会報の発送などです。高校51期の皆さんは、住所変更等ありましたら、上記幹事にご連絡ください。

## 名簿発行

いずみ会では会員名簿のコンピュータ管理を導入して4年がたち、各期の名簿幹事の皆様のご協力、名簿情報は毎年更新されています。また、平成7年発行の名簿は好調な売れ行きで販売用の在庫がなくなり、そこで西暦2000年秋を目標に「2000年名簿」と銘打って新名簿を発行することになりました。詳細は12面(名簿部)へ注意

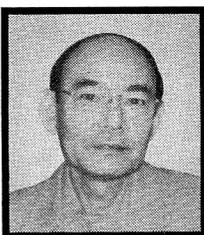
いずみ会名簿は本会が直接発行、販売しております。外部の名簿業者等に委託することはありません。名簿の内容は、会員の大事なプライバシー情報が掲載されています。その使用方法については、良識ある配慮をお願いします。(事務局)

## 故石井副会長追悼

5月の連休明け、石井晴士(高10期)さんの突然の訃報が飛び込んできました。ほんの二週間前の理事会では、いつものほにかむような笑顔をみせていただいたのに。

会の中核として、ご意見を述べるだけでなく、自ら積極的に動き、後輩を引っ張り、会の活動を軌道に乗せていただきました。

生徒会長を務められた在任当時からこれまで、愛する母校の仲間のため、本当にありがとうございました。



冥福をお祈り致します。  
(会長 田中英道)

# 「大泉」その過去・現在・未来

## 吉野校長と山谷先生、大いに語る

司会 お二人の出会いには？

山谷先生(以下敬称略) 高校時代、陸上部がなかったので、友達と二人

で、保谷の教育大のグラウンドで走っていた。種目は千五百メートル、指導者もいなくて自己流だったが、都の大会で決勝まで行ったこともあった。大学でも続けたが伸びなかったな。その後、大泉の体育教師になつてから堤先生の後を継いでラグビー部の顧問となった。城南高校の入笠山寮で、城南・豊多摩・大泉の三都立高校が合同合宿をやつて、そのお礼のために城南の体育科を訪れたとき、いやにかつこつけた人がいるなどと思つたら、それが吉野先生だったと、後で分かった。

吉野校長(以下敬称略) 私はテニスだったから、一体どこの山猿が現れたかと思つたよ。(笑)

司会 山谷先生はケニヤにいかれたのですか

山谷 二年間「青年海外協力隊」に参加して行つた。これは、職もない現地の青少年を集めて、体育的な基礎訓練を施したり、道路工事やグラウンド造成工事等を指導する目的で組織された、言ってみれば、「武器を持たない自衛隊」のようなものだ。一度に二百人くらいの青年たちが集まってくる。この若者たちを指揮して、サッカー場を一度に四面造らせたこともあった。体育としては徒手体操をやつたり、サッカーをやつたり、とにかく、彼らは身体能力が高いから、訓練すれば陸上競技などはすぐ早くなるし、サッカーなどは今でも強い。治安は安定していた。帰つてきて復職したとき、それまでの「サンヤ」というあだ名が、「ケニヤ」に変わった。(笑)

吉野 ずっとあちらに居たほうがよかつたんじゃないの。

山谷 そうすれば今ごろは文部大臣にはなつていたかな。(笑) その後、清瀬東高校に着任して、同窓の植村さん(高21)や田口さん(高21)真柳さん(高24)、などに出会つた。ところで、私の基本的な高校像としては「自由放任でない自由が保たれている大泉」しかない。なにしろ、生徒時代・教師時代を合わせて二十五年間も大泉高校に在籍していたから、

吉野 その後、私は大森東高校で、山谷さんは清瀬東高校で、それぞれ



山谷敬之先生

校長としてのスタートを切つたわけだ。

山谷 それから、横浜に住んでいた吉野さんが練馬区の大泉へ、所沢に住んでいた私が大田区の小山台へと転任になった。私はいつも横目で大泉高校を見ながら大田区まで通つたものだ。しかし、小山台は校風が大泉に似ていて私に合っているなと思つた。

吉野 私はちょうどその頃、練馬区に引越していて、大泉に来たことは大変ラッキーだった。実は私は城南高校時代にソフトテニスの顧問として、部員を引率してここへ試合に来たことがあった。校門からのすばらしい桜並木、その桜の枝がテニスコートのうえまで伸びていた。こういう学校があるんだ、ここに来たいと思つて憧れていた。松吉先生のいらつしやうした頃だった。だから、着任したとき桜の枝が切られていてびっくりした。

山谷 この百三十メートルの桜並木を歩いているうちに気持ちの切換えができる。こういう学校はなかなかない。この桜のトンネルはいつまでも残してほしいな。

司会 今後大泉高校はどうあるべきとお考えですか。

吉野 まず、大泉は変わるべきではない、と言うことだ。初代室岡校長の掲げた「叡知と健康」を追求していくことが大泉高校の不易の原理だろうと思う。それと「自主自律」の精神を保つてしっかりと実践していくことだ。ただ、「不易」を踏まえた上で、時代の流れに対処できるように「流行」を採り入れることも必要だ。例えば、従来の「国語・数学・英語・理科・社会等」といった学科の枠をはずして、「人文系・自然科学系・芸術系・スポーツ系」といった教科統合した形で情報化社会に対応する方法を考えると、あるいは溢れる情報をコントロールし、それらをどう料理するかの能力を「叡知と健康」を基礎として身につけさせるとか。

山谷 大泉高校の具体的な「不易」のものとしてあるのは、土地の広さだ。この土地をもつと有効に利用すれば大泉にはもつとゆとりのある広さが確保される。キャンパスの充実が図れる。そうして六年制の「中高一貫校」を導入すれば、生徒たちはゆとりのある学園生活が過ごせるだろう。ゆとりをもつて将来の進路を選択することが出来るだろう。大泉の持つている利点を十分に活用して都立高校とはこれだ、という見本になり得る学校になってほしい。

先日、ラグビー部のOB会があつたとき、若い現役の生徒達がそれぞれ考えていることを、ただどしどしのもあつたが、とにかくしっかりとやべつた。きちんと自己表現できるのは立派だ。本校の生徒たちはいざ

となるとできるんだ。

吉野 本校では、いわゆる「修学旅行」というものがない代わりに、ここ六年間「ホームルーム合宿」と銘打つて沖繩を訪れる行事を二年生が実施している。私も三度引率したが、ある時こういうことがあつた。沖繩における悲惨な戦いの経験者が、生徒たちに講演をした。終わつてから、一人の生徒が質問して曰く、「今のお話はよく分かつた。しかし、私たちはすでに学校でそういうことを学んできている。また、私たちに戦争責任を問われてもどうしようもない。むしろ、現在の私たちが何をすればいいのか。私たちに何を求めているのかを聞きたい。」と。これを、その講演の次に登場して生徒たちに沖繩の音楽を披露しようとしていた喜納昌吉氏が舞台裏で聞いていてショックを受けてしまった。彼の出番が来ると、彼は生徒たちに言つた。「君たちはただ者ではない。そのとおりだ。今日はおれはノつたぞ。」そして熱っぽく演奏し、生徒たちも舞台上に乗つて大いに盛り上がった。

平成11年6月29日(火) 母校の校長室にて採録 司会・北上俊人(高11期)、植村久(高21期)

吉野尚也校長 母校第15代校長、平成7年4月着任。都高体連男子ソフトテニス部部长、全国高等学校長会大学入試委員長等として活躍。

山谷敬之先生(高8期) 昭和36〜57年の22年間、母校の体育科教師・ラグビー部顧問。指導主事などを歴任、都立小山台高校校長として定年退職後、現在は都総合教育相談室勤務。



吉野尚也校長

吉野 その後、私は大森東高校で、山谷さんは清瀬東高校で、それぞれ



吉野尚也校長

# 学校行事

## 平成11年度

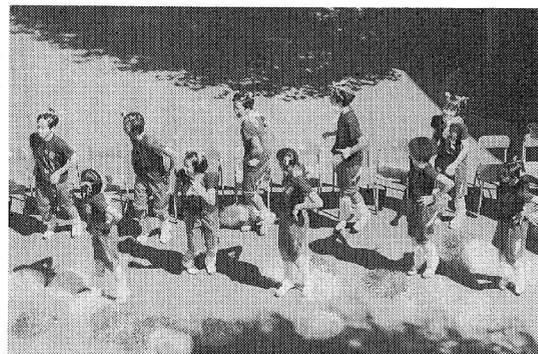
- 4月9日 入学式
- 5月12日 体育祭
- 9月18・19日 文化祭
- 10月14日 開校記念日
- 1月12・15日 二年生HR合宿
- 3月14日 卒業式

## 母校文化祭レポート

平成10年度の文化祭は9月19・20日『Human Revolution』をテーマに行われました。天候に恵まれ、特に二日目の日曜日は澄み渡った秋空と陽光の中での集いとなりました。正門からのプロムナードには整然と自転車並び、世話をする生徒たちの元気な声に迎えられ、文化祭への期待が高まります。

校舎へ入るとまず目を引くのは、揃いのTシャツを着た生徒たち。背中にそれぞれ工夫されたデザインと色でクラス全員の名前がプリントされ、クラスの団結力もさぞやと教室の展示が楽しみ。

作品の展示、模擬店、ゲームラン



ドを彷彿させる風船を使った遊びの空間、定番のお化け屋敷、沖繩HR合宿の研修成果の発表等々。生徒たちの呼び込みにも熱が入ります。

円形校舎の前ではブラスバンドのマーチングやかわいらしく女装した男子を交えてのダンス。渡り廊下からも拍手喝采の一コマです。また、アリーナでのダンス部のエネルギーッシュな演技は圧巻。ふと回りを見るとぎょろりの観客。舞台と客席が一体になって演じる生徒の気迫と、はち切れそうな笑顔はプロ級でした。「静」と「動」それぞれに主張した大泉フェスティバルでした。

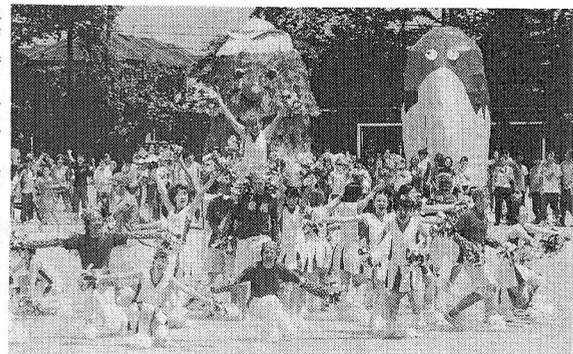
(会報部 荒井)

## 大泉高校創立60周年記念行事

昭和16(一九四一)年に創立されたわが母校は、平成13(二〇〇一)年に60周年を迎えます。これを記念して、学校では、同年10月13日(土)に記念式典を計画しております。

## 活躍しています

- ▽水泳部【男子二百メートル平泳】二年生・山本圭太君が都大会で五位に入賞し、関東大会出場権を獲得しました。
- ▽バドミントン部【女子団体】予選を勝ち抜いてベスト8に残り都大会に出場しました。
- ▽女子バレー部 関東大会の都予選でブロック優勝を果し、都大会で二回戦まで勝ち進み、参加三百数十校中ベスト32に入りました。
- ▽天文部 昨年11月の「獅子座流星群観測」では、人工の光の多い二十三区内にもかかわらず、流星観測数でよい結果を上げました。今年も頑張るそうです。



体育祭 平成11年5月  
撮影 蔵原輝人(高14期)・  
現PTA会長

## 教職員人事異動(敬称略)

( ) 転出先または前任校  
定 定期制・嘱 嘱託

### 【転出・退職】

- 国語 千葉瑞夫(日野台)
- 数学 佐藤伸雄(文京・嘱)
- 数学 高橋伯也(久留米・定)
- 物理 増田英夫(城東)
- 化学 石川良子(保谷)
- 保体 武田富雄(鷲宮・定)
- 物理嘱 外川 誠(退職)
- 保体嘱 居駒永美(退職)
- 【転入】 \*印は本会会員
- 国語 佐藤恒子(豊島)

### 【事務室への転入】

- 国語 植村 久\*(清瀬東)
- 数学 芦田浩敏(大島)
- 数学 藪山惣吉(化学工)
- 物理 渡部 曜(文京)
- 化学 長島宏希(雪谷)
- 保体 片桐一弘(田柄)
- 物理嘱 高橋保孝\*(高島・嘱)
- ⑩は平成10年度の転入
- 主任 石井宏和(交通局)
- 主任 窪谷有理子(富士⑩)
- 主任 藤井範子(新採用⑩)
- 主事 杉本浩章(石神井養護)
- 嘱託 山下キヨ子(井草)

## 進路状況

( ) 内は既卒者、内数

平成11年進路資料より

〔国立大学〕 北海道1(1)、筑波1、埼玉9(3)、千葉3、東京1、東京外語1、東京学芸6(2)、東京農工2(2)、東京工業1(1)、東京水産1(1)、電気通信1、信州2(2)、上越教育1(1)、高知1(1)、琉球1(1)、都立4(2)、都立科技3(1)、都立保健1(1)、横浜市立1(1)、高崎経済1(1)合計42(21)名

〔私立大学〕 青山学院5、亜細亜3(2)、跡見女子1、大妻女子5(2)、学習院15(6)、北里1、共立女子4(1)、杏林1(1)、慶應義塾5(1)、工学院5(4)、國學院2(1)、国際基督2(1)、駒沢8(4)、実践女子1(1)、芝浦工業4、上智5(4)、昭和薬科1、成蹊14(1)、成城8(5)、聖心女子1、専修11(8)、大東文化5(2)、玉川3(1)、多摩美術3(3)、中央25(8)、津田塾2(1)、東海7(4)、東京音楽1、東京家政11(3)、東京経済5(2)、東京女子5(2)、東京女子医1、東京造形3(2)、東京電機6(3)、東京農業7(4)、東京薬科4(4)、東京理科14(9)、東邦4(2)、東邦音楽1、東洋18(13)、獨協4(1)、日本19(11)、日本歯科1、日本女子8(3)、日本女子体育1、文教3(2)、法政40(17)、武蔵22(10)、武蔵工業3(1)、武蔵野音楽1、武蔵野美術5(2)、明治45(23)、明治学院6(5)、明治薬科5(1)、明星1、立教15(6)、早稲田30(20)、神奈川1(1)、立命館1(1)、関西1(1)、他合計511(238)名

〔短期大学〕 東京家政2、青山学院女子・大妻女子・女子栄養・東洋女子・明治・川崎市立看護・埼玉医科大・東邦医療・産能・駒沢・山野美容美術・東京成徳・洗足学園 各1 計15名(現役のみ)

〔専修・各種学校〕 東京福祉商経2名、東京大学医学部附属看護・エコーレキュリネール国立・武蔵野調理師・大原情報・中央工学校・宣教神学校等 各1名(既卒者を含む)

〔就職〕 陸上自衛隊・東京都職員 各1名

# 恩師近況

## 昨年の総会の近況葉書から

られています。まあ、穴蔵から引きずり出されて白日に曝されたという気分です。会報に入山先生の訃報。寂しい思いです。

### 井上 森夫 先生

美術 S 21 ~ 31



小生昭和21年4月旧制大泉中学に赴任。十一年間大泉で楽しい時を

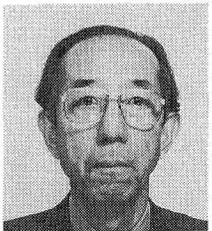
過ごさせて頂きました。その頃は小生も二十代でした。今年74歳になり、もうそろそろ…かなー等と思うようになり、益々大泉の卒業生・先生方が懐かしく思われます。

毎日絵を描き、voilinをこすって

(十年ほど前から弦楽四重奏の仲間に入り、第二voilinをやっています) 過ごしています。高血圧とか心臓が何とかで通院はしていますが本人は自覚症状もなく、まあまあ元気に過ごしております。

### 大橋 信夫 先生

国語 S 29 ~ 31



70歳になって、半世紀近く続けた教職を退いて四年余り。世を離れて

暮らしていました。今年4月から世帯数一〇〇余の小さな自治会の会長に祭り上げられました。駐車違反、ゴミ出し違反の対応から始まって共同募金、夏祭り、敬老会、防災訓練など断続的ながら慣れぬ仕事をさせ

### 尾造 保高 先生

英語 S 30 ~ 38



非常勤講師として週2日、東京成徳短期大学の教壇に立っています。

顔には老人性のシミが増え、頭の禿げは一段と進み、眼はかすみ、首はよく回らない(借金金のせいではなく、難しい名の頸椎の病気のせい)というわけで、家にいる時はあまり元気がないので、短大に授業に出かけると、どこからともなく元気が湧いてくるのは、教えることが根っから好きということなのでしょう。か、それとも相手が若い女子大生だからでしょうか? まあそんなわけで、入院・手術(胸腺腫)から四年、今のところ再発もなく、なんとか無事に日を送っております。

### 恒松 明 先生

社会 S 40 ~ 59



いつも思い出のこともった会報をいただき、幹事の方々がどうご

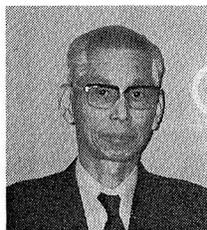
ざいます。すみからすみまで残さず楽しく拝読しています。近況を少々。

○水耕栽培は老人向きです。雑草の心配はいらないし、土を耕す手間が省けます。自動管理にして二週間くらいの旅行は平気です。でもその間に巨大キュウリがぶら下がり、トマトのワキ芽が天窓までのびて後始末が?

○暑い日は部屋の窓は全開にして風を通し、昼寝の後はパソコンや読書です。パソコンはもっぱらワープロでエッセイ用です。地元の人吉新聞に時々「辛口時評」を投稿、ペンネームは町村合併前の久米村から「久米仙」です。(熊本県在住)

### 金尾 進弘 先生

社会 S 40 ~ 61



今夏もよくもまあ生き延びてきたものと感慨無量。教師から落ちこぼれて十年余、もうといわずに「まだ」72歳。「まだ」と居直りつつ前向きに生きていこう。

己の運動感覚をも取り見ずに始めたGOLF。若い連中に引つ張られながら、それでも何とかついて行く。でも結果はB Mとご愛敬、年齢の数だけ叩くと本当に良く云ったものだ。もうひとつ、現役時代から人に笑われそうな道楽に今もドツブリとつかっている。100days劇場TAKA-RAZUKAの東京公演も通年制になり昨年までの観劇ペースが狂ってしまった。閉口している。すべての日程は観劇最優先主義。時には西下し大劇

場に出かけたりもしている。GOLFは肉体的に、Tennisは精神的にそれぞれ最高の健康法と信じ切っているところだ。

### 江平 清 先生

理科 S 40 ~ H 6



ふもと六日町に住む高校の同期生の案内で八海山に登り、八海山を飲んで来ました。卒業以来四十六年ぶりに顔を合わせた友ですが高校時代の仲間は良いものです。現在日本全国を一筆書きに歩く「伊能ウォーキング」に参加して、青森から長野までを歩いているところです。

### 矢野 浩司 先生

英語 S 54 ~ H 2



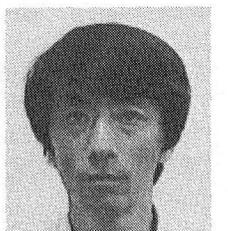
大泉を離れてはや八年近く。今は予備校で人気講師をやっています。

す。病気になっては給料をもらえないので、病気はしません。年相応に徐々に老化しつつありますが、まだまだオイボレてはいません。ただし髪は確実に減った。野球はやっぱりカーブ(来年に期待)。女優は小百合様です。歌はさっぱりうたわなくなりました。酒は一人で飲んでいきます。

### 吉成 裕 先生

理科 S 58 ~ H 7

大泉高校から清瀬高校へと移って四



年目です。旅行で、西武球場で大泉にかかわった先生方と楽しむことがあり、ありがたいことです。

昨年の8月には、地理の石井秀先生、音楽の菊地芳江先生そして91年卒業の羽生君、私の次女優子を含む十二人のメンバーでケニアを訪れ、サファリを満喫しました。動物物のみならず、地形、星座等についても学ぶことの多い有意義な旅でした。今夏もケニアを訪れましたが、87年卒業の俵山さんのお知り合いとお会いするなど大泉高校との縁を感じています。

### 追悼

平成11年2月2日、難病といわれる筋萎縮性側索硬化症で十五年闘病を続けていらした乙黒功先生が逝去されました。享年69歳でした。

昭和39年から59年まで二十年間、化学・地学を担当していました。ご自身も委員をなさっていた母校校舎の改築後の姿を御覧になるのを楽しみにしていらつしやいました。近年は奥様との目の動きによるコミュニケーションで、「21世紀までがんばるよ」と意欲を示され、折しも4月からの在宅治療へ向けての準備中の



突然のご最期でした。心よりご冥福をお祈り致します。

### 日本学士院賞受賞

上代淑人さん(中2期)

学術の分野で優れた業績をあげた人に贈られる九十九年度日本学士院賞を上代淑人(かじろ・よしと)さんが受賞されました。対象研究は、「GTP結合蛋白質の反応機構ならびに生理機能に関する研究」です。上代さんは、東京大学医学部卒。東大医科研究教授、スタンフォード大学客員教授、DNAX研究所員を経て、現在、東京工業大学生命理工学部客員教授、ならびに東京大学名誉教授。専門は分子医学。

「富士見台の仮校舎から、机を自転車に積んで大泉の校舎に引越しました。卒業は終戦の翌年の昭和21年3月、旧制中学の4年でした。軍国主義の時代が一夜でがらっと変わりました。いつの時代でも変わらず大切に

### 紫綬褒章受賞

栗林義信さん(高4期)

長年にわたり学術・芸能分野で活躍され、優れた業績を残された人に贈られる九十九年度紫綬褒章を栗林義信(くりばやし・よしのぶ)さんが受賞されました。栗林さんは、東京芸術大学音楽学部卒。勲日本オペラ振興会理事長。声楽家としてオペラ公演を中心に、テレビドラマなどで幅広く活躍されています。

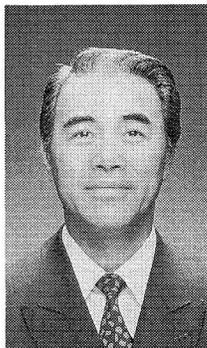
「私が声楽を志したのは高校2年の秋です。九州の高校から大泉高校に転校してきました。芸大受験のため、受験科目のみにしぼって勉強しましたが、ほかの科目も級友が助けられました。音楽の岡部先生をはじめ先生方の配慮で、理科教室にあ



なことは、人の健康を守り病気と闘うことと考えて医学を志しました。一九五九年から四年間、ニューヨーク大学に博士研究員として留学しました。プロペラ機で幾度も乗り継いで辿りつきました。

研究で大切なことは、つぎの3つです。「exciting」わくわくするような知的興奮を覚えるような研究テーマ。「dedicate」学問への献身。そして、「friendly atmosphere」周囲の人々との暖かい協力関係。研究は競争ではなく協力ですから。

読書や音楽鑑賞が趣味ですが、今は研究が一番の楽しみです。」(談)



ったピアノを自由に使わせてもらい、夜9時ころまで毎日練習をしました。ローマに留学中に、オリンピック視察中の両角校長とお会いして高校時代の話をしたのも良い思い出です。ベルディの歌曲をテーマに今まで活動してきましたが、これからもライフワークとしていきます。

音楽一筋の生き方を見守ってくれた妻には感謝しています。」(談) 11月17日には、新宿のオペラシティで開催されるガラコンサートに出演予定だそうです。

### あの頃と、今もおいしく!

母校食堂訪問記

昭和40年に母校でうどんの販売が始まって三〇余年がたちました。当時、PTAと生徒会からの要望に、先生方が保健所等への折衝をかってられ、また山田食品産業社長の山田裕通氏(高5期)のご協力により実現したもので、現在も学校生活の一部となっています。

当初メニューは「きつね」と「たぬき」の二品。値段も三〇円位だったか? 学校内に食堂があることが珍しく、他校の生徒を羨ましがらせたものでした。四時限目終了のチャイムが鳴り終るのもどかしく、かつお節の魅力的な匂いに誘われるように円形校舎へとダッシュ。早弁組にも救いの一杯でありました。これで心地よい午後の昼寝が楽しめた!

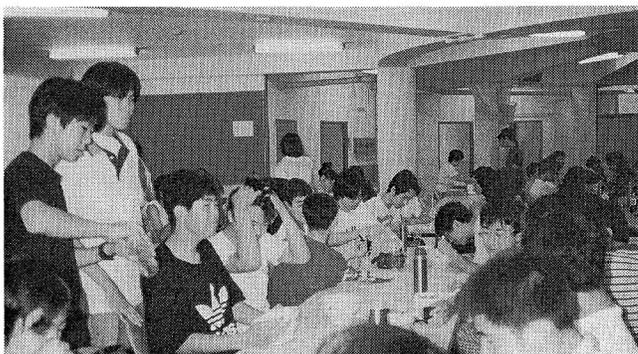
そのうち、生徒からうどんにのせる具の注文があり、ミックス(天かすと揚げ)なるものが登場。「俺たちの時に始まった」いや、僕たちが提案したんだ」等々。学校生活の懐かしさも貴重なひとコマではありましたが、



旺盛な食欲を満たすために裏では「おぼちゃんたち」がいつも頑張っています。サービス開始の時より十八年間、83歳まで調理責任者として学校食堂を支えた白川さん。一緒に働いていた箕輪文江さんがその職を引き継いでもう十四年になります。

年一回の保健所の講習会受講をはじめとして調理だけではない、数々の事務手続きも含め、惜しみない労力を提供して下さっています。

現在は三名の方が従事して、販売場所も昭和61年には定時制の調理場から元購買部のところへと移動し、メニューもひとつ、またひとつと増え、現在は10品目となりました。「おいしかったよ」と喜んでもらえるのが一番嬉しいと、一生懸命です。サービスを設けたり、一年前から生徒の希望で手作りおにぎりの販売も始めました。生徒数が減っているせい(現在は全学年で約八四〇名、かつて100~120食あった一日の販売数も40~50食となりましたが、少しでも長くより良いサービスが提供できるようにと努力されて



います。まさしくボランティアです。ね。 円形校舎に今日も皆が集います。「いらっしやい! 今日暑いねえ」「ぼくは冷やし中華」「おぼちゃん冷やしうどんね」さっぱりとしたテールクロス、ピンク・ブルー・イエローと色とりどりの椅子と明るく照明。食堂は、あの頃の何となくひんやりとした、コンクリートのイメージを払拭して、まるで大学のカフェテリアのようです。生徒たちが和気藹々と食事を楽しんでいます。お弁当を食べる人、うどんを頼む列に並ぶ人。以前とは少しイメージチェンジしたけれど、賑やかな食事の風景と楽しそうな顔、おぼちゃんたちの心づかいは昔のまま変わっていません。お昼の時間、ちよっと覗いて見ているかがですか? そしてあの頃を思い出して、「きつねうどん」一杯いかがですか? (会報部 荒井)

# 緑 蔭

## クラブ訪問

新聞で高校野球の東京地区予選の記事があると、つい「大泉」の文字を探してしまいます。いろいろな所で、母校の生徒たちの活躍を目にするのはうれしいものです。そこでクラブOBに現役の活躍を紹介してもらいました。

### 艇名「疾風」は今も

#### ボート部

久しぶりに戸田公園ボートコースへ母校ボート部(正式には漕艇部)の練習を見に行ってきました。真夏の陽射しが水面に乱反射する中、時折水しぶきをたてながら、気持ち良さそうに艇が走っていく様は三〇数年前と何ら変わりませんでした。ボート部は、東京湾でカッター(後ろが四角の形をした大型おわん型ボート)を漕いでいた海洋部から引き継がれ、以来都立高校唯一のボート部として今に至っており、ここ戸田のボートコースでオールを握ったOBOGは三〇〇名を超えます。

現在、部員は部長の雨宮君を始めとして一六名で、月、木、土(木は月二回)は戸田で漕ぎ、火、水、金



は学校でトレーニングと熱心に練習に取り組んでいるようです。夏の合宿も戸田で予定されており、この機会を利用して是非とも体力、技術共に一段の飛躍を望みたいものです。残念ながら春のお花見レガッタ、インターハイおよび国体の都予選は、不本意な結果に終わったようですが、必ず奮起が期待できると思います。ちなみに「昔は強かったですか?」と聞かれ、少しばかり強かった頃の昔話をしていました。

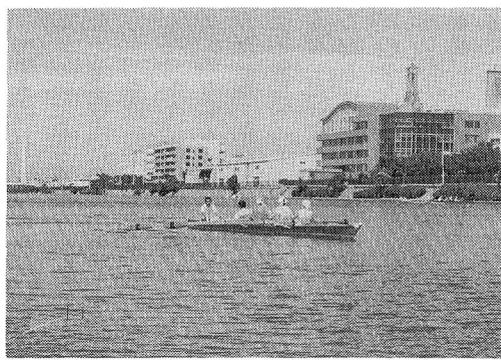
かつては戸田に練習に行くには、自転車か池袋経由のバスしかありませんでした。しかし、JR埼京線が出来、随分便利になった今でも「金がかかるから、チャリンコが多いんですよ」という部員の声も聞かれ、変わらないものもひとつ見つけました。

我々の時代にはナックルフォア(断面が角形で安定性の高い四人漕ぎタイプ)が競技艇でしたが、現在はシェルフォア(薄い材質で作られた断面が半円形のバランスの取りにくい四人漕ぎタイプ。当時は大学生や社会人のもので憧れの対象でした)が競技艇であり、ナックルフォアは練習艇なのだそうで、さらに再来年にはクォドルブルスカル(四人での両手漕ぎタイプで、秋に進水予定)が競技艇として予定されているそうです。

母校のシェルフォアは「疾風」(は

やて)と名づけられていて、我々の時代の艇名が残っているのには思わず懐かしさが込み上げましたが、現役諸君が「しつぷう」と呼んでいるのにはやはり三〇数年の時を感じずにはいられませんでした。

漕ぐ爽快さは何物にも代え難いものです。川辺に立ち、熱風を体中に受け止めていると、仲間と過ごした三年間の素晴らしい体験が蘇りました。地道な練習に励む後輩たちにエールを送るとともに、母校ボート部がさらに時を重ね多くの仲間を増やしていくことを願いつつ戸田をあとにしました。(並木雄平 高20期)



### もつすく40周年

#### 吹奏楽部

そば降る雨のなか、現役と練習すべくOBOGが大泉高校音楽室へと集まった。2001年には創部四十年を迎える我々が吹奏楽部。OB総数六一二名、現役総数六六名(三年生含む)。雪の降るなか第一回目を始めた定期演奏会(現役)は今年で二二回を数え、文化祭でのステージ

演奏や近年ではパレードまで行うほどのまだまだ衰える気配の無い活発な現役たちの活動。それを上回る熱気と「圧倒的!」を合言葉に、石神井公園の野外ステージでセミの声と戦い、「蚊にくわれコンサート」とまで呼ばれていたものが、ついにはホールで開催するようになった。毎年行うようになった「サマーコンサート」である。

母校の文化祭や年末に集まっては話し合い、春には選曲会議。指揮者の選出と会場を押さえ、出演メンバーの連絡や練習計画を練り4月から始まった練習の、今日はOB・現役合同練習の日である。朝早くから熱心に練習していた現役と、10時過ぎから各教室・パート毎に分かれての触れ合い(パート練習!)はとても楽しく、彼らにしてみればいい迷惑?お互いの自己紹介を行い、音符ひとつひとつの長さが違うこと、彼らはとても短く吹いている、音楽とは!、もつと強気に吹かなくてはイカン!等と言っているうちにあつという間にお昼の時刻。弁当持参の現役に、OBはコンビニエへと走って求めたオニギリ片手にまたもや色々と言ひ合う(話しまくる)OB(年寄り)は、実に充実した顔。

8月のコンサートに向かい、7月には合宿を組む。以前にはOBの親睦を図る為の合宿が「榛名山荘」で行われていた。その閉鎖に伴い各所を点々とした後、サマーコンサートの練習合宿として行われるようになったのである。

朝から晩、そして夜まで吹き話であるが、勿論、親睦を深めるために燃料となるアルコールと、そして、



夏の風物詩「花火」も忘れてはいけない。それぞれの思いを語るには、一晩や二晩ではとてもとて。

さて、たつぷりと休憩を取ったあと、午後1時30分からはいよいよ合奏である!曲目は、ベルディ作曲のオペラ「アイダ」。人間と楽器で満タン状態の音楽室で練習(格闘)は進むが、何せ真つ黒い譜面と、彼らにとつては未知の曲。私は何処?、ここは誰?状態!対してこちらはなにせ、皆未だりハビリ状態であるからさあ大変。バイタリティーと、対する知恵で曲と格闘すること90分。指揮をしている私を含め、皆汗だくで終了。その後は、OBだけの練習を行い、5時に完全下校。

心地よい疲労感を伴ってOBは各自家路に。まよめのミーティングは一部メンバーといつものところで。当日の様子は、早速デジカメの画像を伴ってOB会のHPアンドその他にアップされた。もちろん、数人は直ちにO.W.O.M.Lに投稿。真に有意義な一日でした。

(斎藤俊夫 高29期)

# 空や雲が好きの人へ

## いずみ会員気象予報士バーチャル座談会

気象業務法の改正に伴い一九九六年に発足した気象予報士制度、話題は何といつても合格率6%程度の難しい気象予報士試験です。いずみ会には、この難関?の試験を突破した会員が四名います。それぞれ異なる立場で資格を得られましたが、ここで初めて顔合わせをしました。

**森田** こんにちは。司会をつとめます森田です。初めての試みですがバーチャル座談会を開催いたします。それでは、気象予報士になった動機を最長老で最遠隔地のマニラからご参加の松岡さんから、お願いいたします。

**松岡** 私の場合は、止むを得ずといったところです。この試験がはじまった時、私は航空自衛隊の気象分野の責任者をしておりました。航空気象群司令という役職です。今回の気象業務法改正で、我々もこの資格をとる必要が生じたのです。部下(約九〇〇名の内予報官は二〇〇名くらい)にこの資格の取得を命じる立場から、ここはひとつ「率先垂範」しなければならぬだろう、と。

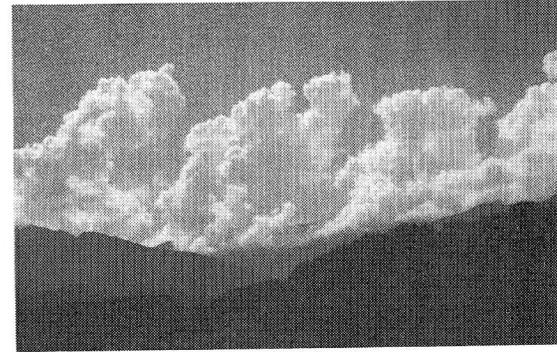
**山田** 私は大学院修士課程で、フィールドワークができて物理的手法が使える分野を研究したかったので北大の地球環境科学研究科に進学しました。テーマとしては大雪山国立公園の南端のある山で、比較的標高が低いにもかかわらず高山性植物だけが見られる場所があったため、その周辺地域で植生分布と風穴現象の関係を調べるため微気象観測を行ない、その関係を明らかにすることを目的に研究していました。卒業後は通信関係の仕事をやっていたのですが、

就きたいと考えていたのですが、ちょうど、大学を出る直前に気象予報士制度が発足しましたので、当然の流れで受験しました。一回目は見事に落ちましたが、二回目ようやく合格しました。

**森田** 山田さんは北海道大学大学院で気象に関するどのような研究をされているのですか?

その後も自然科学系の仕事をしたと思っていましたので、気象予報士を目指そうと考えました。そこで暇を見つけては勉強し第七回の試験で気象予報士の仲間入りをする事ができました。

**高森** 中学生から高校生の頃は地理分野が好きでそのなかでも気候の分野に興味がありました。中学2年か3年の頃、練馬区内でもかなりの雪が降り、どうしてこんなに東京に雪が降るのかとか、両親から聞く日本海側の雪と太平洋側の雪の質が違うことにも興味を持ちました。将来の職業もなんとなく気象絡みの仕事に



**松岡** 私は中国・広西壮族自治区で盆地の夜間冷却現象を研究しています。従来の盆地での研究は、一般に比較的緩やかな斜面をもち、周囲の斜面からの長波放射の影響を無視できるといふ地形での例がほとんどでした。しかし中国・広西壮族自治区内にあるカルスト地形地域では、平均傾度が40度を超える急峻な山に囲まれた閉鎖性盆地という特徴をもっているため、長波放射を絡めた局地気象観測を行なえば新たな知見が得られると考えています。

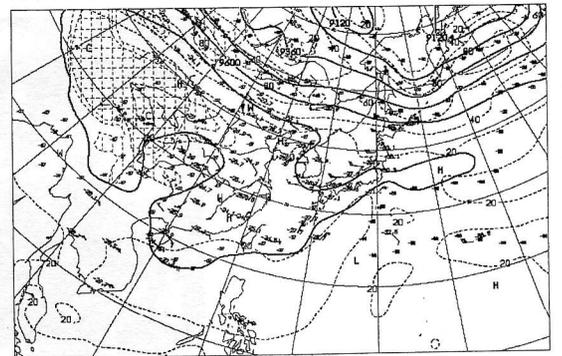
**森田** 松岡さんは長い間、航空自衛隊で気象隊員を育成してきたとのことですが、一般気象と軍事気象とはどのような違いがあるのですか?

**松岡** 気象庁の行なう気象業務の最大の目的は防災でしょう。これに対して自衛隊では任務の達成と安全の確保のため気象情報を利用していかとうと、多分、気象現象をさらに積極的に利用する側面が増す、と言うことだろうと思います。

**森田** 高森さんはNHK(名古屋)の気象番組を担当されているとのことですが、どのようなエピソードがありますか?

**高森** 残念ながらエピソードというほどのものはそんなにありません。

500, 300hPa高層天気図(00Z) 1999年7月29日 9時(JST) (気象庁発表)



最初に出演したときかなり自分でも緊張しておりマイクのスイッチ(よくニュースを見ていると、アナウンサーが手でスイッチみたいなものさわっている)を入れるのを忘れていて、オンエアに声が数秒乗らなかったことがありました。これを見ていた友人がその後こんなメールをくれた。「一番焦ったのは、見ていた視聴者だと思ふよ」その通りだと思いました。幸い、その後、マイクの入れ忘れは一回だけですんでいます。細かいことは出演日毎にあります。頭が真っ白になって、次のコメントを忘れてしまい、「気温はいい感じでしょう」などといってしまったこともありました。

**森田** 気象予報士を目指す人に一言山田 興味のある人は、基本的な概念さえ押さえておけば、気象予報士になることは可能だと思います。

**高森** 気象という「頭の上」で起こっていることに興味を持つということでしょうか。興味あれば、なん

でも頭に入っていきますよ。

**松岡** 気象学の基礎は数学にあります。数学で説明できない現象は、説明できなかったと言えない...といったようなことが、気象学の古典ともいうべき、ペターセンの本の裏表紙に書かれております。私の場合は、逆で、気象学を学ぶことで始めて、抽象的な微分と積分の意味を具体的に理解することが出来ました。

**森田** 結局、試験合格の秘訣は、「天気のことに興味を持ち、好きになり、大気現象を理解する」ことですね。それでは、お忙しい中、長い間お付き合いました。ありがとうございます。

〈バーチャル座談会〉  
この座談会は四名がそれぞれ遠隔地に在住しているため、インターネットのEメールを使って座談しました。  
〈気象予報士ホームページ〉  
village.infoweb.ne.jp/~yoho/  
**松岡真臣**(高11期) 防衛大学校応用物理学科卒業。昭和38年4月/平成8年4月航空自衛隊勤務、平成8年定年退職。東京在住。  
**山田雅仁**(高40期) 北海道大学大学院地球環境科学研究科修士課程卒業。海上保安庁勤務を経て現在、北海道大学大学院博士課程在学。札幌在住。  
**高森泰人**(高40期) 弘前大学理学研究科修士課程卒業。現在、(財)日本気象協会東海本部気象情報部解説予報課主事。名古屋在住。  
**森田陸四郎**(高15期) 東京理科大学理学部応用数学科卒。現在、(株)写研勤務、気象予報士会幹事。東京在住。

# 同期会だより OBBOG会だより

高9期  
還暦記念の夕べ  
もう一度高校生  
真田 明廣

私たち高9期生は、昭和20年に小学校に入学して、一学期だけ戦前の教育を受け、高度経済成長への兆しが見え始めた昭和32年3月、大泉高校を卒業しました。そして平成10年で60歳を迎えました。

同期会は三年毎に開催してまいりましたが、平成10年がその三年目にあたりましたので、昨秋「還暦記念同期会の夕べ」を、赤坂東急ホテルで開催しました。ちょうど一〇〇名の出席でした(出席率33%)。



決め、一五か月間に一六回集まり、知恵を出し合いました。

コースや全員参加のフォークダンスや恩師からの「還暦を迎えた、昔の教え子への励ましのことば(色紙に書いて戴いた)などの好評を得た企画は、こうした準備の中から生まれました。

還暦後の人生を有意義に過ごすには、かつての学友との交流を大事にしたいとつくづく感じました。

高12期  
先生方はお元気  
我々もまだ若い  
板橋 昭寿

6月5日、飯田橋の日本出版クラブ会館にて、高12期(昭和35年卒)同期会を開催しました。出席者が三十数人と少なかつたのは残念ですが、橋本先生、花崎先生、畑野先生、中島先生のご出席をいただき、二次会を含めて約5時間結構盛り上がりました。

今回の同期会通知で確認された杉浦親平君を含め確認できているだけで12名の仲間が既に他界しており、冥福を祈り黙とうする一幕もありました。とたんに癌の手術をした、肝臓だ、糖尿だ、肥満だと病の話で盛り上がりつつあり、勤め先のリストラに遭った者、年寄りの介護に追われている者、第二の人生に乗り出そうと苦勞している者等々あちこちで話題となり、今日の57歳は自分だけでない



く誰もが大変なんだと妙に安心したり納得したりしていました。

それに比べて先生方は本当に元気会場までの坂道がきついと一様に文句を言っていた我々だが、まだ若いんだ、頑張らなければと改めて認識させられた一日でもありました。

高15期  
箱根一泊  
湯ったり気分  
森田 陸四郎

平成10年11月14日から15日にかけて、箱根小湧園で七回目の15期同期会が開催されました。一泊の同期会は初めての試みでどうなることかと心配されましたが、参加者も四〇名を超え、大成功となりました。

14日、先ずはゆつたりと露天風呂やジャングル風呂に入り、次はメインの宴会で近況報告やビンゴを楽しみました。二次会は、ホテル内のスナックを借り切って行い、カラオケや青春時代に戻ったの談話で夜が更

けていきました。いつもの同窓会では、帰ることが心配で、ゆつくり飲めなかつた人も今回は存分に楽しんでようでした。翌日はゴルフ、紅葉狩り、浅間山散策、美術館めぐりと、皆さん多種多様な楽しみ方をされた二日間でした。参加者の皆様、今回残念ながら出席できなかった皆様平成12年秋また又お会いしましょう。

方も七人お越し下さいました。遠く英国やバングラデシユ、北海道から、文字通り飛んで来られた方々など、皆さんのこの会に対する思いが伝わって来る様でした。五年・十年・三十二年振り懐かしさの度合いは違いますが、会場は友達達の和の花が咲き乱れ、あつという間に三時間が過ぎてしまいました。先生方や遠方から来られた方へのインタビュー、同期生同士のご夫婦の紹介、近況報告の拡大コピーの掲示、名札等幹事の方々のアイデアやお心配りのおかげで、楽しい時を過ごさせていただきました。近況を読んで二世も大泉に入られた方が多かつたことを誇りに思いました。全員で撮った集合写真の三枚目は、ある方のタイミングの良い一言に一同が笑い、期待以上の傑作になることと思います。久しぶりに歌った校歌は、しつとりと心を和やかにしてくれました。五年後の再会を約束してお開きとなりましたが、二次会は七十二人が参加しました。



高20期  
校歌を歌い  
心なごやかに  
田中(佐伯)百合恵

6月19日に高20期の三回目の同期会が、池袋のホテルメトロポリタンで行われました。半世紀を生きた元若人が約一〇二人集い、懐しい先生



高21期

高校の仲間は今も青春時代

岩城 隆就

高校時代の友人ほど楽しい仲間はいない。大学時代となると履修科目も別々だし、第一人数が多すぎてお互い顔も知らなかったりもする。小・中学校時代はまだ子供すぎて付き合いにさほど深さもない。その点、高校の仲間とはいっつも会ってもあの青春時代に気分が戻ってしまうから不思議です。恐らく、お互いの根っこの部分を知っているから、安心して付き合えるのでしょう。

40代も半ばを過ぎると家庭も仕事も落ち着いてきて人生を振り返る余裕も出てくるのか、頻りに会うようになる。会ってみると男性も女性も皆、多士済々で感心するばかりです。従い、もっと多くの仲間と会いたいと思ひ、手分けして消息不明者探し



に精を出す。今はインターネットと云う便利なツールもあり、あつと云う間に空欄が埋まりました。この勢いを借り、遙か熊本在の恩師にもお時間を頂き、去る2月28日に市ヶ谷会館で一〇〇名を超える同期生、担任だった恩師方が一堂に会した次第です。

OBOG合唱団

小川 陽弘(高3期)

OBOG合唱団では結成三周年を記念して、昨年12月5日に演奏会と懇親会を兼ねた音楽パーティーを開催しました。オープンして間もない中野坂上のハーモニーホールで七十人を超える聴衆と合唱団員が集い、午後5時から8時半まで楽しくも充実したひと時を過ごしました。演奏は三部構成とし、合間々々に歓談するという形で行いました。第一部では世界の民謡など小曲を歌い

第二部は団員によるピアノ・ギター独奏、独唱、二重唱、聴衆を巻き込んでの合唱と変化に富んだ演出をしました。第三部は再び合唱で、「鳥の歌」など岡部先生の編曲を中心として歌いました。会は大成功裏に終り、今はまた月一回、第三金曜日の母校での練習に励んでいます。一緒に歌いたい方の参加を歓迎します。

M社ミニ同窓会

浦田 佐恵子(高14期)

これは私が14期の名簿係になったことから始まりました。M社社内で出身高校が話題になることは少なく、

知らないままウン十年。同窓会名簿でお互いの存在を認識し、一度おしゃべりでもということと、昨年10月26日アプター15の社員食堂での初顔合わせとなりました。



14・15・19・20期の面々。先生方や学校行事も共通の話題に上る世代でもあり、盛り上がり異常さと取り

合わせの妙に、他のテーブルから「何の集まり?」との不審の声に「何だと思っ?」と周囲を巻き込み大笑い。職場での顔からは想像できない学生時代のエピソードや現在の私生活まで大ノリのひとときでした。後日「女房が大泉」という方も出現し、次回も乞うご期待!

お知らせ

中2期同期会

10月24日(日)いずみ会総会のあとに同期会を予定しています。詳細はおつてご連絡致します。

連絡先・菊谷義美

Tel・03-39951-4155

高10期同期会

日時 11月20日(土)午後5時より

場所 銀座五丁目八一

サッポロ銀座ホール

連絡先・羽根田(三松)千賀子

☎0489-62-9659

高13期同期会

日時 平成11年10月16日(土)

午後5時より

場所 アルカディア市ヶ谷

連絡先・山本章義

☎090-2144-4469

高18期同期会

日時 平成11年11月20日(土)

詳細はおつてお知らせします。

連絡先・田口健一郎

☎03-3557-5120

高24期同期会

第二回の同期会を平成12年に予定。詳細はおつてご案内します。

連絡先・真柳 仁

☎03-39923-2817

高26期同期会

恒例の同期会を平成12年に予定しています。ご案内を差し上げますので

楽しみにお待ちしております。

連絡先・鹿島千恵子

☎03-39952-2121

高29期同期会

来年(平成12年)4月に四年に一度の同期会を予定しています。詳細はおつてご案内いたします。

連絡先・斎藤俊夫

☎03-39993-4591

ラグビー部OB会50周年誌発行

OB会有志の手で、「都立大泉高校ラグビー部創部50周年記念誌」を平成11年6月27日に発行しました。売価

3500円 郵便振替00110-

397778 大泉高校ラグビー部OB会

会員訃報(敬称略)

心よりご冥福をお祈りします

中2期 山田 昇

平成10年12月22日逝去

高4期 稲益 省二

平成10年8月12日逝去

高8期 久保田義介

平成10年9月27日逝去

高10期 石井 晴士

平成11年5月11日逝去

高10期 藤本 実

平成11年2月14日逝去

高13期 高橋(瀬戸山)章子

平成10年5月13日逝去

高18期 小泉 晝儀

平成9年12月17日逝去

高20期 山本 紀男

平成9年11月15日逝去

高23期 水野 浩吉

平成11年3月26日逝去

(以上の方々が前号掲載以降、事務局に寄せられた訃報です。)

追悼

昭和22年から55年までの三十三年間、母校用務員として大泉の移り変わりを見過ごさず下さつた前田トメさんが、平成11年3月1日逝去されました。享年88歳でした。

大泉を退職後、膝を悪くされ、病院での生活が多くなりましたが、大泉時代のゆかりの方々が訪問され

一緒に思い出話や大好きな甘いもので一時を過ごせる事とても喜び感謝されていたそうです。十年余りの闘病後、肺炎のためのご最期でした

が、穏やかに満ちた表情であつたとお聞きしています。

心よりご冥福をお祈り致します。



## いずみ会 総会・懇親会のご案内

★年1回、いずみ会会員が集い、親睦を深める場、それが、総会・懇親会です。

- とき：平成11年10月24日(日)  
12時30分～ 受付開始  
13時～ 総会  
13時30分～ 懇親会  
15時30分 終了予定

●ところ：母校 多目的教室・大会議室

- 会費：中1期～高38期 2,000円  
高39期～高48期 1,000円  
高49期～高51期 無料

★今年は、卒業期の下一桁9の期が、「9の会」を結成し、当番期として懇親会を盛り上げます。

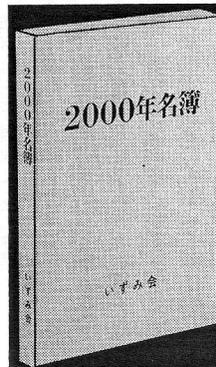
★今回の懇親会では、「大泉NOW」を合言葉に、今の大泉を知っていただくための、楽しい企画も予定しています。

★ご出席の方は同封の葉書にて、9月末日までにご連絡下さい。

## 「2000年名簿」予約販売のお知らせ

2000年名簿販売は、全て、事前予約(事前振込)制です。締切もありますので、ご注意下さい。

- 価格：3,000円(送料含む)
- 申込方法：同封の振込用紙をご利用下さい。
- 締め切り：平成12年3月末日
- お届け時期：平成12年11月頃



注)実物の装丁は写真とは異なります

## 「2000年名簿」協賛広告の募集

5年振りの名簿です。おおいにご協力お願いします。

名刺大：5,000円 名刺2枚大：10,000円  
A4判の1/2：20,000 A4判大：40,000円  
頂いた原稿をそのまま掲載します。原稿の作成が必要な場合は、別途、制作費用がかかります。

●広告申込み・問合せ 下記のFAXかEメール

## 住所情報お寄せ下さい WANTED

2000年名簿の充実を図るため会員の皆様のご協力をお願いします。

あなた自身を含め、同期、先輩、後輩で住所や名前が変わった人をご存知の方はご連絡下さい。同封の不明者リストを参考にして下さい。

●宛先は下記のご連絡窓口と同じです。

## クラブOBOG会・その他集りの幹事様へ

「2000年名簿」には、クラブOBOG会や、母校卒業生が集う会やサークルの連絡窓口を掲載いたします。幹事の方は、平成11年11月末日までに、情報をお寄せ下さい。

●宛先は下記のご連絡窓口と同じです。

## いずみ会連絡窓口

- 同封のハガキにて、お寄せ下さい。
- FAXなら、 **03-3920-2374**
- Eメールなら、 [izumikai@drive.co.jp](mailto:izumikai@drive.co.jp)

## 編集後記

■コンピューター2000年問題はいずみ会にはあまり関係なさそうで、会計の会費管理システムも問題ないとのこと。いずみ会もホームページを開くための検討が開始されました。会報に加え本会の情報発信の場が広がると思います。■会報部編集スタッフ 武市則昭(高9)、北上俊人(高11期)、森田陸四郎(高15期)、寺章夫(高20期)、荒井真理子(高20期)、植村久(高21期)、仲澤浩一(高32期)

印刷所/一光印刷所 ☎ 03-3953-3336

## 来年は、いずみ会役員改選です

いずみ会の現在の役員に関しては、平成11年度をもって任期満了となります。そこで、次の通り、次期役員の見学手続きについて、ご連絡いたします。

1. 平成12年5月に開催予定の定時幹事総会において、役員選挙を行います。
2. 役員選挙の立候補届並びに推薦届の提出期間は、平成11年10月1日から、平成12年3月31日までとします。
3. 立候補・推薦の届けについては、以下の事項を明記の上、選挙事務局宛に郵送またはFAXでご提出下さい。(記載漏れがあると、無効となることがあります。)

●〒204-0003 清瀬市中里5-105-19  
宇多様方  
いずみ会選挙事務局 宛  
FAX 0424-93-6596

(届出の際、明記頂く事項)

1. 立候補または推薦する役員の種類(会長・副会長・理事・監査役)
2. 立候補者または被推薦者の氏名、期(または卒業年度)、住所、電話番号
3. 推薦届の場合、推薦人の氏名、期(または卒業年度)、住所、電話番号
4. 立候補または推薦の理由(200字以内。幹事総会招集通知の候補者紹介に転載いたします。)

## 事務局幹事へのお誘い(募集)

いずみ会の役員とともに、会の運営のお手伝いをしてくださる「事務局幹事」の皆さんを、募集しています。

●同封のハガキ、FAX、Eメール等で、ご連絡ください。

## 文化祭へのお誘い

母校文化祭に本会も下記の通り初参加します。お誘いあわせて、ぜひのぞいてみて下さい。

「池上彰氏(高21期・NHKアナ)の講演会」

- 平成11年9月18日(土) 13:30～
- 1号棟3階自習室

「いずみ会展示コーナー」

- 平成11年9月18日(土)、19日(日)
- 図書館入口手前右側のコーナー

## 「いずみ会文庫」にご寄贈ください

会員の皆様の著作(共著、翻訳、漫画等も歓迎)を母校の図書館に設置された「いずみ会文庫」に置き、現役生徒の励み・目標にしています。今後ともぜひ、ご寄贈をお願いします。

●〒178-0063 練馬区東大泉5-3-1  
大泉高校内  
いずみ会文庫 宛

## 会費納入、ご寄付のお願い

●卒業後10年を過ぎた年度(高41期以前)から、70歳に達する年度までの会員の方は、同封の振込用紙で年額1,000円の会費を納入して下さい。数年分の前納も可能です。

- 納入義務のない方もご寄付は大歓迎です。
- 納入状況は宛名シールの下に表記されています。